

事業概要：農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	福島県ほか 6 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	1,005,226千円（195,518千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・農業未経験者の若者が、福島県の農業に魅力を感じ、新規就農として地域に根ざしながら安心して農業を行える環境の整備を図る。 ・県外からの新規就農者が定着、継続的な受入、そして定着が根付くことで、県外から新規就農した先輩がサポートしてくれる安心感から、人が人を呼び込む好循環ができあがり、多くの産地が活性化することを図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若い世代の地方志向等移住定住に興味を持っている層に、移住と農業という仕事を推進することで、新たな就農希望者を掘り起こすとともに、生活も含めた地域に根ざして安心して暮らせる支援により、さらなる新規就農者の確保や担い手の育成を行う。	 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ●住む（移住）×仕事（就農）による新規就農者確保と担い手育成 ・新規就農者支援拠点の構築(補助金)50,000千円 ・情報発信、各種イベントの開催等(委託料)88,175千円 ●浜通り発 労働力こらんしょモデルの構築及び普及 ・農作業請負事業者を活用した農業労働力確保・供給モデルの構築、農家の農作業指導の支援、(委託料)21,588千円 ●新規就農希望者に対し各種PR、就農体験、就農に向けた相談対応（指導報償費）112千円、（パンフレット作製費用）143千円 ●ワンストップ型就農支援体制モデル委託事業（委託料）1,947千円 ●アグリテック技術の導入及び実証普及に係る経費補助（補助金）2,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①新規就農者数（+1,655人） ②県外からの新規就農者数（+305人） ③雇用就農者数（+827人） ④浜通り地域等の生産現場での作業受託件数（+28件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されて いるURL （交付金の具体的使途・実施体制） 福島県: https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/2/1002/2/sousei/index.html 白河市: https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html 須賀川市: https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/gyoseiune/keikaku/chiho_sosei/1015604/4045.html 二本松市: https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shisei/jigyo_keikaku_gyosei/gyousei_hyoka/page000103.html 郡山市: https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/171339.html 柳津町: https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2021060100019/ （効果検証） 福島県: https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shisei/shisaku-keikaku/1/1/2/10820.html 白河市: https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html 須賀川市: https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/gyoseiune/keikaku/chiho_sosei/1015604/4045.html 二本松市: https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shisei/jigyo_keikaku_gyosei/gyousei_hyoka/page000103.html 郡山市: https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 柳津町: https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2021060100019/

※福島県、福島市、白河市、須賀川市、二本松市、郡山市、柳津町の広域連携事業

事業概要：中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト

旧制度（推進）

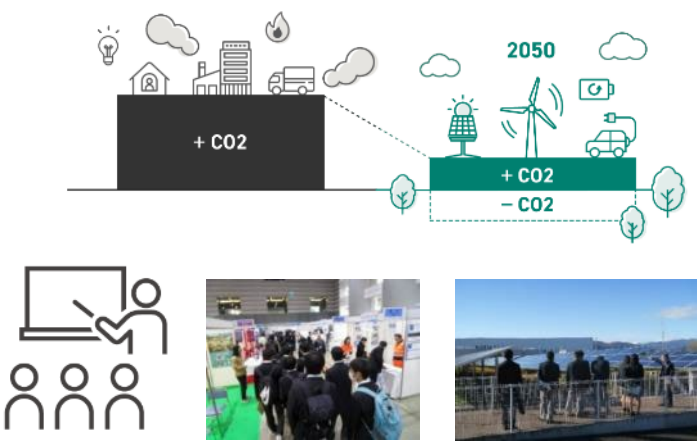
申請者	福島県、塙町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	506,371千円（92,631千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・地域外の人材の協力による自然環境と共生した農村の維持・活性化を図る。 ・生産から販売までを通じた地域農業経済モデルの創出による農業の稼ぐ力の向上、担い手の参入と定着を図る。 ・自然環境と共生した農村の創出・維持と、農業の稼ぐ力の向上による担い手の参入と定着の好循環が、条件に不利のない都市的農業地域や平坦地域にも波及し、地域全体の活性化へ寄与。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農村地域の魅力発信とともに、地域での共同活動維持のため、地域外人材の受入に取り組む地域に対し、地域外人材とのマッチングを支援することで、農村関係人口の創出を図り、農村の維持・活性化につなげる。 また、県産花きの認知度向上や需要拡大のため、花き関係事業者等連携組織を活用した飾花によるPRや需要の把握に努めるとともに、県民の自発的な花き消費を促す情報発信を行う。 さらに、園地継承の仕組みづくりを促進するための園地リストの作成、セミナーを開催するとともに園地継承のルールづくりや円滑な継承に必要なマップ作成・更新等に係る経費を支援する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ●農村関係人口の創出等による中山間地域等の維持・活性化 ・農村地域と地域外人材のマッチング支援（報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、委託料）8,204千円 ・維持管理負担継続による営農作業の効率化（委託料）6,500千円 ●新たな地域農業経済モデルの創出 ・未利用果樹園の有効活用(果樹園地継承啓発セミナー)(報償費)57千円、(旅費)192千円、(需用費)480千円、(使用料賃借料)90千円 ・花きの地域内消費のモデルの創出(花代、花きPRパネル代等) 435千円、(印刷製本費等) 29千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①農産物販売金額1,000万円以上の農業経営体数（+363件） ②農地・農業用水等の保安全管理などの地域農業の持続的発展に資する取組を行う関係人口の数（+174人） ③農地中間管理事業を活用した園地継承重点対象3品目（もも、日本なし、ぶどう）の賃貸面積（+106ha） ④県内4市場における県産花きの取扱い本数（+270万本）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 塙町： https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html (効果検証) 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 塙町： https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html		



▲オンライン交流会
▶地域内対話支援

事業概要：福島発産学官連携による脱炭素社会推進事業

旧制度（推進）

申請者	福島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	147,446千円（32,890千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、関連産業の育成・集積につながる人材育成や県内企業の脱炭素化に向けた取り組みを後押しし、本県経済の持続的な成長と新たな産業・雇用の創出を図るため次を行う。 ①県内企業の脱炭素化による産業競争力維持・向上 ②水素関連産業の育成・集積に向けた人材育成・確保		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 金融機関と連携した脱炭素経営支援や設備投資、新産業参入へのFS調査を支援する。併せて、水素分野やZEHの技術者育成、工業高校生への教育を実施することで、技術開発・設備導入・人材育成を多角的に推進し、県内産業の脱炭素化と新産業集積を加速させる。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ●脱炭素関連技術開発事業化可能性調査 ・脱炭素関連産業参入に向けた関連技術 F S 調査実施支援（補助金）20,000千円（事務経費）68千円 ●産学官連携水素研究支援事業 ・福島大学が実施する水素関連調査・研究に対して支援し、本県の水素社会の実現及び関連産業の育成集積を図る。（補助金）10,000千円 ●未来を担うカーボンニュートラル人材育成事業 ・工業高校生等に対し、福島県再生可能エネルギー研究所やREIFふくしまの見学などを通じ、再エネ・水素関連技術などカーボンニュートラルに関する取組を学ぶ機会を提供し興味や関心の喚起、知見の習得を促す。（使用料賃借料）2,700千円他		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値			
	①脱炭素化に向けた計画を策定し、実現した企業数（+19件） ②水素関連企業との共同研究や事業化など商談が成立した企業数（+7件） ③テクノアカデミーにおけるZEH関連資格（スマートマスター）の取得件数（+17件） ④脱炭素関連技術開発事業化可能性調査を実施した企業数（+25件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html （効果検証） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html

事業概要：スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	福島県ほか6自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	597,782千円(94,578千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	「スポーツ」というあらゆる人々の共通項となり得る「ツール」を用いて、県民相互の交流を促進し、高齢者や障がいのある人も含めた多様な人々が交流・活躍できる機会を創出することで、全ての県民がいきいきと活躍できる社会を形成するとともに、スポーツ観戦客を広く呼び込む取組や合宿等の誘致を図ることにより県外からの交流人口を拡大させるなど、スポーツが持つ力により地域全体の活性化を実現する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 プロスポーツチームが持つ高い認知度や集客性、本県の恵まれたサイクリング資源等を活用した、県民相互の交流促進。eスポーツやパラスポーツの「誰でも楽しめる」スポーツという特性を生かし、多様な人々が交流できる機会を創出することにより、社会参加や多様性の理解促進。また、プロスポーツチームやサイクリング資源等については、既存の観光資源や県産品といった他分野と連携することで、県外からの交流人口の拡大も積極的に図るほか、eスポーツやパラスポーツなど潜在的な可能性を持つ分野についても、先進的な取組を展開し、県外からの集客が見込める交流イベントの開催や合宿・大会等の誘致を図っていく。 【R8年度事業 経費内訳】 ●eスポーツを用いた多様な交流・つながり創出プロジェクト 「誰でもどこでも楽しめる」特性をいかし、eスポーツを通じて多様な交流を促進するイベントの実施（委託料）7,663千円他 ●パラスポーツによる多様性理解促進プロジェクト 障がいのない人も対象とした出前講座や体験イベント等を実施し、多様な交流を推進（委託料）10,594千円他 ●プロスポーツによる地域活性化プロジェクト 県内のプロスポーツチームの選手と県民が交流するイベントやPR、県外のサポーターが観戦時に県産品等の魅力にふれあう機会を設けることで、スポーツ観戦による交流人口拡大を図る（委託料）45,732千円他 ●サイクリングを活用した持続可能な地域づくりプロジェクト サイクリングコースや合宿誘致を目的としたコンテンツを造成し、持続的な誘客や交流人口拡大を図る（委託料）8,600千円他		
	・全ての県民が、いきいきと活躍できる社会形成 ・スポーツの力による地域活性化 多様な交流 機会創出 交流人口 拡大 eスポーツ パラスポーツ プロスポーツ サイクリング		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①本事業をきっかけに誘致・開催されたスポーツ関係の大会・合宿等の参加者数（+2,960人） ②民間主体のeスポーツ交流イベント等の開催件数（+22件） ③パラスポーツ出前講座等受講者数（+5,500人） ④プロスポーツ平均入場者数（+3,562人）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL （交付金の具体的使途・実施体制） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihosoisei.html 福島市：https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/2/1002/2/sousei/index.html 郡山市：https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/171339.html いわき市：https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1769669957552/index.html 白河市：https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html 須賀川市：https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/gyoseiune/keikaku/chiho_sosei/1015604/4045.html 喜多方市：https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/60398.html （効果検証） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihosoisei.html 福島市：https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shisei/shisaku-keikaku/1/1/2/10820.html 郡山市：https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html いわき市：令和8年9月公表予定 白河市：https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html 須賀川市：https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/gyoseiune/keikaku/chiho_sosei/1015604/4045.html 喜多方市：https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html		

※福島県、福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市の広域連携事業

事業概要：魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業

継続

申請者	福島県ほか 6 自治体※					初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	132,614千円 （44,215千円）
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	人口減少・高齢化が進む中、サービス産業が衰退し、それが若年層の減少を加速させるという負のスパイラルを回避する観点から、鉄道沿線を軸に都市機能が集積するという構造を活かして、沿線の市町村間で機能を分担・連携する「コンパクト＋ネットワーク」を構築し、住民が参画した地域社会を形成することにより、持続可能な地方創生を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 磐越西線の魅力を強烈に発信することで、鉄道ファンを中心に県内外から誘客し路線の認知度を向上させるとともに、沿線住民の関心を高め、住民を巻き込んだ駅と鉄道を活かした地域活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・磐越西線「ふくしま鉄道博」開催等（委託費）25,013千円 ・公共交通サービス運行実証事業等（委託費）8,997千円 ・水郡線利活用事業（委託費）3,000千円 ・鉄道利活用促進イベント実施業務（委託費）2,605千円 ・団体臨時列車運行事業（委託費）3,500千円 ・鉄道利活用促進事業（負担金等）1,100千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲6,389人） ②来街者による賑わいが維持できていると回答した商店街の割合（＋4.50%） ③地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合（＋40.00%） ④地域の課題を解決するための提言や、社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合（高校在学中）（＋70.00%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 郡山市： https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/171339.html いわき市： https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1769669957552/index.html 田村市： https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/machizukuri-sousei_2.html 石川町： https://www.town.ishikawa.fukushima.jp/admin/project/info/008507.html 玉川村： https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/guide/plan/005210.html 小野町： https://www.town.ono.fukushima.jp/soshiki/3/110_1.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 郡山市： https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html いわき市：令和 8 年 9 月公表予定 田村市：令和 8 年 9 月公表予定 石川町： https://www.town.ishikawa.fukushima.jp/admin/project/info/008507.html 玉川村： https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/guide/plan/000054.html 小野町：令和 8 年 9 月公表予定

※福島県、郡山市、石川町、玉川村、いわき市、田村市、小野町の広域連携事業

事業概要：デジタル技術を活用したものづくり企業の働き方改革支援事業

旧制度（推進）

申請者	福島県、白河市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	210,083千円（71,869千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・デジタル技術の製造現場への導入により、働き方改革を推進し、ものづくり企業の魅力向上を図る。 ・中小ものづくり企業が働きやすい企業に成長することにより、女性・若者の新規就労者が増加し、活躍することで地域の魅力の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県の主要産業である製造業（ものづくり企業）の担い手となる若年層及び女性が働きたいと思える働き方改革に向けた企業側の職場環境改善に必要な支援等を一括的、包括的に実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 製造業における働き方改革モデルの創出 ・セミナー、ワークショップの開催及びコーディネータ、アドバイザー派遣（委託料）15,730千円 ● 地域産業の魅力向上支援 ・日本酒の製造工程をデジタル技術で見える化するIoTセンサデバイス及びデータ共有システムを試作開発（需用費）3,700千円、（委託料）1,400千円、（備品購入費）17,500千円他 ● 働き方改革高度化支援 ・デジタル技術の試験導入と効果検証が手軽にできる「試作キット」の開発及び実証ラボの整備（需用費）6,411千円、（委託料）7,340千円他 ● 中小企業DX活用推進事業 ・DX伴走支援及びセミナー開催（委託料）6,589千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+571千円/人） ②セミナー、ワークショップ、成果発表会等の参加者数（+480人） ③デジタル技術導入支援数（+315件） ④デジタル技術の導入による働き方改革・改善件数（+30件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) 福島県 https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 白河市 https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html (効果検証) 福島県 https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 白河市 https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html

事業概要：地域課題解決プロジェクト創出事業

旧制度（推進）

申請者	福島県、会津若松市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	439,531千円（152,177千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・多種多様な人材が自分らしい働き方をできる新たなしごとの創出 ・地域課題を解決する新たなチャレンジ人材の確保 ・新規性・成長性をもった事業者と地元企業の連携による新事業創出		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 起業意識の醸成から新規プロジェクトの立ち上げ支援、事業化のための伴走支援、事業拡大に向けた成長支援など、地域課題解決に繋がる新事業創出のための一体的な支援を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ●新規性・成長性のある事業者の創出・意識醸成 ・ピッチコンテストの開催（委託料等）11,333千円 ・新規プロジェクト立ち上げ支援（委託料等）20,531千円 ●地域課題解決に向けた新規チャレンジ人材育成 ・県内等の大学・研究機関の事業化支援（委託料等）50,401千円 ・女性の創業支援専門人材育成(委託料等）8,833千円 ●新規性・成長性のある事業者の成長支援と県内企業との連携強化 ・県内での事業拡大に向けた成長支援（委託料等）25,340千円 ・デジタル商品、サービスおよび技術の展示・体験会を開催（委託料等）14,550千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地方へのU I J ターン数（+250世帯） ②新規プロジェクト立ち上げ件数（+29件） ③地域課題解決事業と県内企業等のマッチング件数（+32件） ④意識醸成に向けたコンテスト参画数（+270人）		（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 会津若松市： https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2026012200014/ （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 会津若松市： https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100032
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：福島県観光誘客促進プロジェクト

継続

申請者	福島県ほか 8 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,276,281千円 (410,887千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	観光周遊施策の強化・充実を図ることによって、県内の観光客入込数だけではなく、観光宿泊者数の増加を図る。加えて、観光交流人口に留まらず、その先の移住・定住人口の増も見据え、まずは新型コロナや人口減少により低下するおもてなし力(観光受入体制)の強化を図り、「再び訪れたい福島」を創り、旅行者満足度の向上やリピーター増加に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光人材の育成や花によるおもてなし、バリアフリー化等で受入環境を整備する。また、地域の観光資源の高付加価値化や旅行商品化を支援し、広域プロモーションや二次交通対策、スタンプラリー等の実施により、県内周遊の促進とリピーター、関係人口の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ●観光客受入体制の強化 ・観光事業者や交通関係事業者に対するおもてなし研修を実施（委託料）54,562千円 ●観光コンテンツの造成・強化 ・観光事業者等への専門家派遣による観光コンテンツの磨き上げの支援を実施（委託料）10,212千円 ・新しい切り口での新規観光コンテンツ造成の支援（補助金）21,605千円 ●本県観光の魅力発信 ・インバウンド観光客を獲得するため、福島県ならではのストーリー性を持ったコンテンツの情報発信（委託料）20,280千円 ●観光客獲得、周遊促進 ・県内に数多く点在しているアートを切り口とした観光周遊の推進（委託料）5,000千円 ・広域周遊のための移動支援の推進（委託料）33,517千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込数（+5,000千人） ②県内宿泊者数（+800,000人泊） ③観光消費額（宿泊）（+30,000百万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県: https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihosei.html 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/2/1002/2/sousei/index.html 郡山市: https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/171339.html 喜多方市: https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/60398.html 伊達市: https://www.city.fukushima-date.lg.jp/soshiki/1/77686.html 檜枝岐村: https://www.vill.hinoemata.lg.jp/kankou/shinko/000056.html 玉川村: https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/guide/plan/005210.html 白河市: https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html 田村市: https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/machizukuri-sousei_2.html （効果検証） 福島県: https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihosei.html 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shisei/shisaku-keikaku/1/1/2/10820.html 郡山市: https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 喜多方市: https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html 伊達市: 令和 8 年 9 月公表予定 檜枝岐村: 令和 8 年 9 月公表予定 玉川村: https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/guide/plan/000054.html 白河市: https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html 田村市: 令和 8 年 9 月公表予定

※福島県、福島市、郡山市、喜多方市、伊達市、檜枝岐村、玉川村、白河市、田村市の広域連携事業

事業概要：「未来につなぐものづくり」技能継承と価値創造プロジェクト

継続

申請者	福島県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	369,390千円 (113,148千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		
目的・効果	○県内中小製造業が県内IT産業と連携しながら、IT技術を駆使し効果的な知識・技能継承を実現し、更に自社製品の付加価値向上や新規取組に挑戦することができるような企業競争力の高いふくしまを目指す。 ○地域の産業振興を担う産業支援機関の支援力を強化することにより、企業が抱える商品開発や技術的な課題等の解決につなげる。さらに、中小企業の有するノウハウ、知見、アイデア、デザイン等の無形資産は企業競争力の源泉であり、戦略的に活用することが求められる。これらの知見を産業支援機関が獲得し、企業支援に活用することで、産業財産権の出願数の増加に結び付け、企業価値の向上につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 IT技術を活用した知識・技能継承のモデルケース創出、県内製造業に特化した I T 教育支援、企業連携人材育成、ものづくり中小企業開発・開拓推進、デザイン経営推進人材育成、経理業務のDX化支援をとした経営分析・改善支援を実施し、産業支援機関の機能を強化することで、本県中小企業の自社製品開発を推進するとともに、企業価値の向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ●ものづくり技能継承支援事業 ・県内中小企業の重要な業務プロセスや製造技術における知識・技能継承に効果的なシステム等の導入支援（委託料）38,599千円 ●企業連携人材育成事業 ・ものづくりコーディネーターの提案力強化を図り、技術課題解決によるマッチング（委託料）9,507千円 ●ものづくり中小企業開発・開拓 ・中小製造業の製品開発支援、商品販売ノウハウに関する伴走支援、DX技術導入に係る企業向けセミナー（委託料）13,160千円 ●デザイン経営推進人材育成事業 ・ビジネスモデルのデザインや知財戦略の策定の手法が活用できる産業支援機関の人材をワークショップや実践研修によって育成（委託料）8,590千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業によりDX化に取組み、経営改善することが出来た事業者数（+51社） ②知識・技能継承に係るIT技術の試行的導入数（+10件） ③知識・技能継承に関するIT導入をきっかけに、更なる I T 利活用に繋げた企業数（+5社） ④開発製品関連の売上総額（+9,000千円） ⑤産業財産権の出願件数（+138件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 郡山市： https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/171339.html 須賀川市： https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/gyoseiunei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 郡山市： https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 須賀川市： https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/gyoseiunei/keikaku/chiho_sosei/1015604/4045.html

※福島県、郡山市、須賀川市の広域連携事業

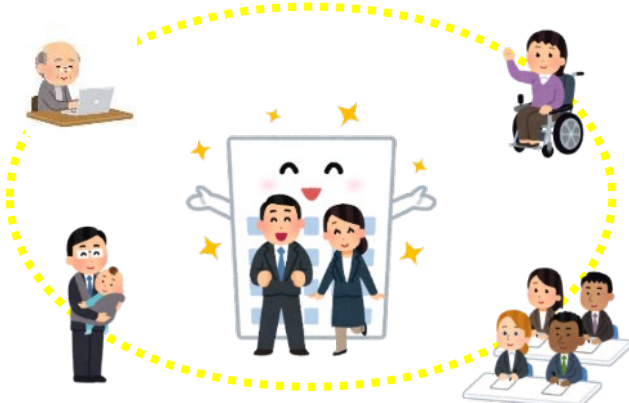
申請者	福島県、福島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,990千円 (28,735千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・宇宙産業において福島県は地理的に東側に海が開けていてロケットなどが打ち上げやすいという利点があり、相性の良い企業や洗練された関連技術がたくさんあるためにサプライチェーンの獲得という面でも強みがある。そのため航空宇宙産業が県を代表する産業の一つとして大きく成長し、若年者を中心に製造分野の従事者も増加していくことが期待される。 ・宇宙開発においても国を牽引し、研究施設等も整備され、宇宙産業への支援も強化していく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 LSAを技術者向けの機体形状の検証や若年者向け校外学習の場として活用、技能者育成プログラムの作成・検証、航空宇宙関連産業新規参入検討企業在职者向けセミナーを実施する。					完成軽量飛行機  小型ハイブリッドロケットエンジンの燃焼試験 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・完成LSA（軽量スポーツ航空機）の活用（委託料）8,800千円、（役務費）300千円他 ・宇宙関連機器製造における技能者育成プログラム開発（委託料）4,218千円、（需用費）4,340千円他 ・企業在职者向けセミナー（委託料）3,885千円、（役務費）1,477千円他						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①テクノアカデミーの関連科における県内航空宇宙関連企業への就職者数（+6人） ②宇宙関連機器製造における技能者育成プログラムの作成数（+6本） ③企業在职者向けのセミナーの受講者数（+160人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 福島市： https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/2/1002/2/sousei/index.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 福島市： https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shisei/shisaku-keikaku/1/1/2/10820.html

事業概要：選ばれるふくしま県内企業人材確保プロジェクト

継続

申請者	福島県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	656,518千円 (219,068千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内企業の魅力の底上げ及び魅力の発信力強化の初期段階を支援するとともに、企業一社一社が自社の魅力に気づき、魅力を高め、魅力を発信するサイクルを構築することで、県内外の若年層を含めた多くの人材確保・定着が進んでいる状況を目指す。 県内企業において若年人材を安定的に確保できる仕組みを構築し、産業競争力の強化や地域活性化による本県全体の魅力向上を目指す。また、若年人材が活躍ができる新規就業を実現するのみならず、新入社員のネットワークづくりや相談支援を行うことで職場定着を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 以下の取組を一体的に取り組み、県内企業の魅力の底上げ、魅力の発信、学生と企業の接点創出を行うことで、県内企業の認知度向上、理解促進及び県内就職への関心向上を図る。 ○若者に選ばれる県内企業魅力づくり ○就活サイトタイアップ 企業情報発信 ○県内企業体験ツアー・交流会運営 ○学生×企業デジタルプロジェクト ○若年者に対する県内企業の理解促進（高校生・大学生） ○新規高卒者の県内就職促進 ○上場企業育成支援						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・セミナー、ツアー・交流会開催、情報発信、対象者への講話等の実施（委託料等） 219,068千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用保険被保険者数（±0人） ②新規大学等卒業者の県内就職率（+ 1.5%） ③新規高卒者の県内就職率（+ 0.15%） ④転職サイトタイアップによる公開企業情報への応募数（+ 750件） ⑤参加者アンケートによる地元企業に興味を持った人数の割合（+ 0.45%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 郡山市： https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/171339.html 須賀川市： https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/gyoseiunei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 郡山市： https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 須賀川市： https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/gyoseiunei/keikaku/chiho_osei/1015604/4045.html

※福島県、郡山市、須賀川市の広域連携事業

申請者	福島県ほか 4 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	93,515千円 (31,662千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	シニア層や育児・介護中の短時間労働希望者、障がい者、外国人などをはじめとした多様な人材の活用・働き方に対する企業の「気づき」を促すとともに、受入に向けた環境・体制づくりを図ることで、人手不足の解消と、立場の異なる多様な人材が働き手として活躍できる社会を形成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業の経営者や人事担当者を対象としたセミナー・ワークショップ、採用後のミスマッチをなくすための企業見学会、成功事例の事例集、リーフレットやPR動画を通じた情報発信を行うとともに、人材の受け入れ、雇用に向けた相談支援やセミナー、交流会等の開催を行うことで、多様な人材活用の推進を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 求める人材再発見支援事業 ・セミナー・ワークショップ、企業見学会、情報発信（委託料等）15,679千円 ● 多様な人材雇用に向けた支援事業 ・外国人材雇用サポートデスク運営、人材迎え入れセミナー、労働者交流、障がい者向けオンラインサロン構築（委託料等）14,283千円 ・外国人材受入環境整備補助（補助金）1,700千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用保険被保険者数（±0人） ②本事業による外国人雇用（＋75件） ③外国人向け研修会・交流事業参加者数（＋30人） ④メタバースによるオンラインサロン参加から就労支援機関につながった利用者数（＋8人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	 (交付金の具体的使途・実施体制) 福島県: https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/2/1002/2/sousei/index.html 会津若松市: https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2025090200022/ いわき市: https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1769669957552/index.html (効果検証) 福島県: https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 福島市: https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shisei/shisaku-keikaku/1/1/2/10820.html 会津若松市: https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100032/ いわき市: 令和 8 年 9 月公表予定

※福島県、福島市、会津若松市、いわき市、須賀川市の広域連携事業

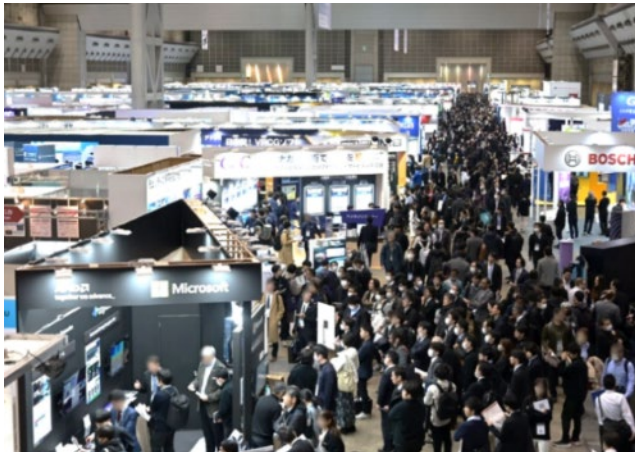
事業概要：福島県医療関連産業成長のためのエコシステム構築事業

継続

申請者	福島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	717,987千円 (260,199千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	イノベーションを創出できる次世代の医療関連産業人材を育成し、若年者等の地域定着を促進する。 全国のスタートアップ企業等のアイデアを県内ものづくり企業等が連携して形にするシステムを構築する。 産業のすそ野拡大のため、IT/AI技術を活用した医療機器開発を支援できる県内企業の増加を図る。 世界の医療機器市場の約44%を占める米国市場に参入する県内企業の増加を図る。 医療機器開発の起点となる医療従事者ニーズと県内企業の技術シーズを橋渡しするとともに、新たな販路開拓を支援する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 段階的な人材育成により医療機器関連企業に必要な実践的な人材を育成し若年者等の地域定着を促進するとともに、スタートアップ企業のマッチング支援やIT関連企業等の参入促進等により、産業のすそ野拡大及び医療機器生産額等の増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ●高校生等向け人材育成 ・医療機器体験学習会等（委託料）16,200千円 ●高校生等を指導できる人材の育成 ・バイオデザイン講座等（委託料）14,400千円 ●普及啓発のためのイベントの開催 ・小中学生向けのイベント（委託料）7,500千円 ●スタートアップと県内企業との取引成立を促進する取組 ・事業委託等（委託料）106,589千円 ・医療機器開発支援経費（補助金等）20,530千円 ●県内IT関連企業等の医療関連産業への参入を促進する取組 ・業務委託（委託料）19,500千円 ●米国市場獲得に向けた取組 ・業務委託（委託料）19,700千円 ●医工連携を促進するとともに販路開拓を支援する取組 ・業務委託（委託料）55,055千円						
主なKPI	①福島県の医療機器生産金額（+119億円） ②プログラム参加者の県内医療機器関連産業への就職数（+6人） ③本事業により成立したスタートアップ企業等と県内企業との取引成立数（+8件） ④米国展示会を契機とした商談成立件数（+15件） ⑤本事業により医療関連取引が増加した企業数（+40社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html （効果検証） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html

事業概要：次世代モビリティ・E V 参入促進事業

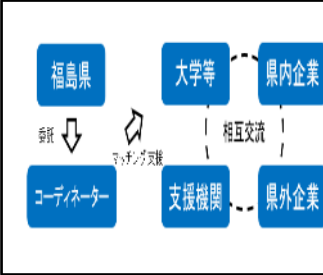
継続

申請者	福島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	92,308千円 (29,150千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・自動車関連企業自らが、電動化やSDV（ソフトウェア・ディファインド・ビークル）等の生産に係る事業環境の変化に柔軟に対応できるよう、業界の潮流の変化を的確に捉えることができる力をつけ、事業転換や新分野参入を見据えた製品開発や独自の販路構築を進め、新たな取引を増加させることにより、持続的な操業を目指す。 ・カーボンニュートラル関連産業の育成、集積につながる人材育成や県内企業の脱炭素化に向けた取組を後押しすることにより、本県経済の持続的な成長と新たな産業・雇用の創出、定住促進を図ることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県の主要産業である自動車関連産業において、電動化対策や次世代モビリティ・EV分野の参入・事業転換等を促進するため、セミナーやワークショップの開催、商談会等を実施し、県内企業の新規分野への参入及び販路拡大等を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ●次世代モビリティ・EV参集促進事業 ・次世代モビリティ分野の基礎知識や業界ニーズを習得するセミナーやワークショップ（委託料）21,686千円、（需用費）100千円他 ●水素関連産業人材育成事業 ・水素活用に関わる技術動向等を学ぶセミナー・見学会開催（委託料）6,519千円、（需用費）511千円他						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業による支援企業等の商談成立件数（+35件） ②自動車関連企業向け展示商談会への出展企業数（+39社） ③ワークショップ・セミナーへの参加企業数（+90社） ④福島県内の水素関連研究会及び活動団体に新規参加した企業数（+9件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html

申請者	福島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	93,786千円 (27,648千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	福島の看護の情報を提供するLINE公式アカウント「ふくしまナースライン」を開設し、LINE友だち登録したユーザーにLINEを通じ看護師等養成所への進学、県内就業、離職防止、復職まで広く情報提供等により支援し、人材の安定的確保につなげるとともに、若い世代に看護職のやりがいや魅力を発信することで、看護職への興味・あこがれ、看護職に就きたいというモチベーションを高め、将来へのキャリアデザインにつなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 当県で実施している各種事業の情報発信を効果的に行うために、福島の看護の情報を提供するLINE公式アカウント「ふくしまナースライン」を開設し、看護の情報をより手軽・安全・身近に受け取ることのできる体制を整備する。 ※情報発信する事業一例（以下事業は本事業とは別事業として実施） ・看護師等学校養成所募集リーフレット作成 ・看護学生実習受け入れ促進事業 ・高校生の1日看護体験実施事業 ・看護体験イベント開催事業 ・看護職キャリアスタートガイドブック ・潜在看護師等再就業促進・緊急時確保事業						
	【R8年度事業 経費内訳】 公式LINEアカウント運営事務（広報含む）に要する経費 委託料 27,648千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①就業看護職員数（常勤換算数）（+1,757人） ②看護師養成所等入学者数（充足率）（+12.2%） ③看護師養成所等卒業生の県内就業率（+8.6%） ④LINE友だち登録者（+21,640人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html

申請者	福島県、いわき市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	58,203千円 （19,401千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 重要な社会インフラである地域公共交通を確保・維持し、県民の通勤・通学・買い物などの移動機会を保障することにより、安心・快適な生活環境を構築し、本県の社会人口の減少を抑制する（人口流出を防ぐ）。 ・ 安心・快適な生活環境が構築されることで、人々の活発な移動や買い物等が促進され、地域経済化の活性化にもつながる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県外採用活動支援、職場体験支援、運転手等の魅力発信、人材の定着に係る支援を実施し、現在運行されている路線を維持・確保することが可能な人数まで増加を図る。運転手等が確保され、公共交通の路線が維持・確保されることにより、県民の通勤・通学・買い物などの移動機会が保障され、安心・快適な生活環境が構築される。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・県外採用活動支援（県外就職説明会や合同企業フェア参加費用等補助）3,500千円 ・職場体験支援（バスツアー、運転体験会等）3,401千円 ・運転手等の魅力発信（パンフレット作成、SNS等による動画発信等）5,000千円 ・人材定着に係る支援 （スキルアップ等に係る研修等を開催する経費補助） 2,500千円 （女性向け施設の整備に係る支援） 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の社会増減（▲6,240人） ②乗合バス及び地方鉄道の年間利用者数（+473,665人） ③バス運転手の充足率（+11.70%） ④地方鉄道運転士の充足率（+18.70%） ⑤バス運転手の女性人数（+3人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html いわき市： https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1769669957552/index.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html いわき市:令和9年9月公表予定

新規

申請者	福島県、福島市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	522,483千円 (175,659千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		
目的・効果	県内航空宇宙関連企業の交渉力向上を通じた取引拡大や受注獲得、協議会設立によるネットワークの形成、広域的なサプライチェーン構築を支援することを通じ、県内企業が航空宇宙関連ビジネスに挑戦するための素地を整えるとともに、こうした企業による地域産業クラスターの形成を促進し、将来渡って自立的・持続的な産業として確立することを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「Ⅰ 受注獲得・ステップアップ支援」 技術開発や投資費用の補助といったハード・ソフト一体での支援や県内ネットワークの形成・受注獲得支援を行う。 「Ⅱ 多様な主体の参画による連携構築」 福島特有の地域性を活かし、地域の可能性を引き出せるよう、ふくしま航空宇宙産業推進協議会の設置、スタートアップ等との連携強化支援、多様な主体による研究開発に取り組み、事業の進捗状況、効果測定を行う。 「Ⅲ 飛躍的成長への支援」 広域的なサプライチェーンの構築・拡大のため、マッチング支援等に取り組み、ビジネスとして自立できるような成長を促す。					ふくしま航空宇宙産業推進協議会（イメージ）  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・試作品・技術開発や参入に係る投資費用といったハード・ソフト一体での支援（補助金）45,000千円 ・多様な域内の関係者・関係団体が参画する協議会を創設し、県内ネットワークを形成（委託料・報償費・使用料及び賃借料等）23,924千円 ・広域的なサプライチェーン構築を支援するため、県主催イベントへの県外有力企業の招致・商談イベントやマッチング会を開催（委託料）31,816千円					産業基盤強化事業  	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における製品出荷額（+90億円） ②国内外の商談会、交流会等における商談成立件数（+15件） ③ふくしま航空宇宙産業推進協議会の会員数（+62者） ④技術研修会等の参加人数（+120人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 福島市： https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/2/1002/2/sousei/index.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 福島市： https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shisei/shisaku-keikaku/1/1/2/10820.html

事業概要：ふくしまとのつながりづくり事業（関係人口の拡大）

新規

申請者	福島県、天栄村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	505,031千円 (171,269千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・人口減少に伴い、地域の活力低下や担い手不足など様々な影響が生じることが懸念されているが、本事業により県と市町村が連携し、「オールふくしま」で一体的な情報発信や受入事業の実施等に取り組むことで関係人口を創出。 ・関係人口の地域滞在により地域内の消費が増加するとともに、ふるさと納税や地域の産品を購入するなどの応援活動が行われることで、地域経済の活性化が図られる。さらに首都圏企業との継続した関係性を構築することにより、まとまった人数の消費活動のほか、企業が持つ知見やノウハウが地域に導入され、地域企業の生産性や付加価値が高まるなど、長期的な経済波及効果が見込まれる。 ・関係人口との関係性をさらに深め、地域が必要としている様々な活動への参加を誘導することにより、地域の担い手を確保し、地域の事業継続・拡大に結びつけることができる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・県、市町村等が主体的に関係人口創出に向けて取り組むため、県全体の受入体制を整備・強化した上で、県・市町村・民間団体等が行う多様な取組を集約し、一体的な情報発信を実施するとともに、各主体が連携して関係人口を登録することにより関係性の深化に繋げる。 ・県内で取組が少ない、複数市町村のエリアで広域的に行う取組や、首都圏企業等と連携した取組などを本事業で実施することにより、県内各地で様々な切り口の事業を展開する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・情報発信（委託料等）30,558千円 ・県外企業との共創に向けたコーディネート（委託料等）75,357千円 ・地域住民との共創による関係人口受入体制強化に向けたイベント等の開催（委託料）57,280千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（移住者数）（+642人） ②訪県を伴う関係人口数（+900人） ③ポータルサイトアクセス数（+324,000件） ④地域課題解決への協力・PJ参画者数（法人版関係人口数）（+340人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 天栄村： https://www.vill.tenei.fukushima.jp/soshiki/35/dejiden-sougousenryaku3.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html 天栄村： https://www.vill.tenei.fukushima.jp/soshiki/35/dejiden-sougousenryaku3.html

事業概要：ふくしま創生人材創出プロジェクト

新規

申請者	福島県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	234,939千円 (74,313千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・将来の担い手となる地方創生人材の育成に向けて、オール福島で取り組み、「地域共創EXPOふくしま（仮称）」や地域課題解決活動を通じて、高校生や小中学生が地域産業の現場や社会的役割に触れることで、働くことの意義や地元企業への理解が深まり、将来的な地域経済を支える人材の確保を目指す。 ・地域や企業等が学校と継続的に連携する体制を構築することで、子どもたちの地域への誇りと主体性が育まれ、地域理解や地元企業への愛着形成が醸成され、地域企業の人材確保や競争力を高め、地域産業の維持及び拡大につながり、強い経済の実現を支える基盤となる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・高校生の地域課題解決活動や地域の魅力発信に向けた活動の成果を全県的に発表する機会として、「地域共創EXPOふくしま（仮称）」を開催。また、地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの配置や、地域の課題や魅力、活躍する人材を発信するポータルサイトの活用により、学校を核とした地域との共創体制を構築。 ・大学による知見を活用しながら、小中学校において地域人材や地元企業と協力した地域課題解決活動を実践、その成果を活かし幼少期から地元理解や愛着形成を促進する教育活動プログラムを開発する。 ・猪苗代湖畔で環境学習のコンテンツ造成を支援し、コンテンツの見える化を行う。また、モニターツアーを実施し、受け入れ体制づくりの支援を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域共創EXPOふくしま開催（委託料） 8,000千円 ・地域コーディネーター配置（委託料） 14,000千円 ・地域の魅力等を発信するポータルサイト構築（委託料） 8,000千円 ・多様な主体と連携した、地域の課題や魅力を学ぶフィールドワーク等（使用料、消耗品及び委託料等） 14,631千円 ・地域課題解決に特化したプログラム開発支援等（委託料） 18,912千円 ・地域課題解決活動に関するシンポジウム開催等（委託料等） 1,429千円 ・猪苗代湖における環境学習機会の創出支援（委託料等） 9,341千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+642人） ②「地域共創EXPOふくしま（仮称）」参加人数（+3,200人） ③地域の課題を解決するための提言や、社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合（高校生）（+45%） ④猪苗代湖における環境学習体験者数（+600人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html （効果検証） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html

事業概要：アグリ・イノベーションチャレンジプロジェクト

新規

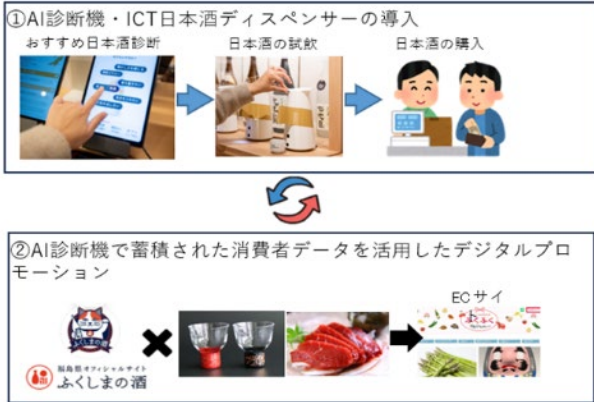
申請者	福島県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	347,264千円 （115,758千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・企業による農業分野への新規参入等を促進し、地域農業の維持・発展を目指す。 ・生産から流通・消費に至る多様な関係者が一体となって取り組む付加価値向上型の商品開発を促進し、農林漁業者等の所得向上と地域産業の振興を目指す。 ・温暖化・異常気象や担い手不足等に対応した農作物の安定生産技術の開発などにより、持続可能な農林水産業の実現を目指す。 ・スマート農業等による生産の省力化・効率化をさらに推進し、多様な担い手が活躍できる社会を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○企業等農業参入モデル創出事業 ・企業等による農業参入に向けた取組を支援する。 ○地方発プロダクトリーディング創出事業 ・農林漁業者、加工業者、卸・小売業者、消費者など、多様な主体が連携して行う商品開発を支援するとともに専門家派遣による伴走支援等を実施する。 ○飼料づくり生産性向上モデル構築事業 ・新品種・品目の活用の支援及び近年の気象に合わせた肥培管理技術の実証を行う。また、飼料生産の分業化を実施するモデル地区を構築する。 ○スマート農業先導モデル構築事業 ・農業機械メーカー等との連携による実証や検討会や研修会を実施し、技術モデルを構築する。					 自動操舵試験	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・企業等の農業参入に係る試験栽培（資材費や農業機械リース料）等を支援（補助金）20,000千円 ・高付加価値商品の開発に関する各種支援等を行う総合統括窓口の設置・運営（委託料）33,446千円 ・新品種等を活用する取組を支援（補助金）20,000千円 ・生産者の技術向上を支援（委託料）7,500千円					 多様な主体が連携した商品開発	
	①農産物出荷額（+97億円） ②新規参入企業数（+7件） ③連携型高付加価値商品の創出数（+4件） ④事業を実施した飼料畑・草地における単位面積当たりの牧草収量(乾物）（+75kg/10a） ⑤スマート農業技術等導入経営体数（+305経営体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL （交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html	
主なKPI	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：県産品販売拠点・情報発信強化事業

新規

申請者	福島県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	177,589千円 (74,243千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県アンテナショップを核に、国内外の消費者に対して、日本酒をはじめとした県産品の魅力を効果的に発信できる拠点を整備し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・消費者ニーズなどの分析を強化し、消費者に強く印象付けられるようなプロモーションを展開し、マーケティングの精度を高めることで、県産品の販路拡大を図っていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・県アンテナショップ（物産館・日本橋ふくしま館）において、個人の嗜好に合わせた日本酒を提案するAI診断システム及びAI診断システムと連携したICTディスペンサーを導入することで、日本酒に馴染みのない層が気軽に日本酒を試飲することができ、新たな集客スポットになるような情報発信拠点を整備する。 ・物産館や日本橋ふくしま館に設置したAI診断システム及びICTディスペンサーで獲得した消費者データを活用し、消費者のニーズに即したコンテンツを作成し、Instagram等で効果的に情報発信を展開していく。また、各コンテンツから、ECサイトへの導線を整備し、消費者の購買行動を後押しする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・AI診断機及びICTディスペンサーのシステム運用費用：8,808千円（委託料） ・消費者購買行動に基づくプロモーション費用：28,710千円（委託料） ・AI診断機及びICTディスペンサーの導入及び改修費用：36,595千円（委託料）					 ■消費者の嗜好に合わせた商品選択が可能 ■消費者ニーズに即したデジタルコンテンツの充実	
主なKPI	①県内清酒製造業出荷額（+85,455万円） ②吟醸酒課税移出量（+300kl） ③有料試飲機販売金額（+769千円） ④Instagramフォロワー数（+9,000人）					URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html （効果検証） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/chihososei.html

事業概要：高湯温泉地区の観光拠点再整備事業

継続

申請者	福島県福島市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	78,890千円 (71,830千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・共同浴場「あったか湯」を整備することで安定的に源泉管理を行い、高湯温泉の特徴である「源泉かけ流し」を最大限に活かす環境を整え満足度向上及び温泉利用者数の増加を図る。 ・高湯地区を中心に市内の周遊性を高め、あわせて観光客受け入れ体制を整備し、集客率向上と関係人口増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 共同浴場「あったか湯」の浴槽・浴室の整備、源泉管理に必要な設備の機能性向上を図り、露天風呂庭園のライトアップを行う。また、同地区内にある旅館同士の連携を図り、日帰り旅行者が周遊し滞在できるようキッチンカーや軽食コーナー、休憩スペースを設けていくなど滞在スペース確保を行う。 周辺観光地との地域資源の連携を強化し、閑散期となる時期でも高湯温泉が温泉地の目玉として目的地として選ばれるよう本リニューアルを起爆剤に観光需要の創出することで冬季を含めた夜間の利用者の増加を図り、観光客の滞在時間延伸および持続的な集客、年間を通じ安定した営業を行い、観光地として「温泉」という認知度の向上及び観光客入込数の増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 71,830千円 ・源泉引込み木桶リニューアル等工事 ・浴室、脱衣室等リニューアル工事 ・露天風呂庭園リニューアル工事						
主なKPI	①観光客入込数（+5,000人） ②高湯温泉共同浴場「あったか湯」の年間売り上げ額（+900万円） ③高湯温泉共同浴場「あったか湯」のリピーター数（+5,000人） ④1人当たりの観光消費額（+500円） ⑤高湯温泉共同浴場「あったか湯」の入館者数平準化率（+3.00%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	<交付金の具体的使途・実施体制> https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/2/1002/2/sousei/index.html <効果検証> https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shisei/shisaku-keikaku/1/1/2/10820.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：旧広瀬座活用推進事業

新規

申請者	福島県福島市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	39,370千円 (29,430千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・旧広瀬座に代表される地域の文化財をはじめ、福島らしい地域特有の文化や歴史を活用して地域活性化やまちづくりを進めることにより、市民が自らの住む地域への誇りや愛着を醸成するとともに、市全体の活力向上を目指す。 ・観光分野と連携することで交流人口の拡大や滞在時間の延長を図り、地域経済が活性化した「福島らしさ」を活かした持続可能な活力あるまちの実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光データなどの分析から、歴史・文化資源の活用不足と一過性の課題が浮き彫りとなった。そこで、本市を代表する文化財である旧広瀬座の見学ツアーを定期開催するとともに、芝居小屋としての環境を整えたうえで、将来的な利用需要の創出のため、地元の劇団や著名な演者によるこけら落とし公演を開催する。さらに、観光分野と連携し、上記事業を効果的・継続的に実施していくため、民家園活用推進協議会を設置し、地域全体で市内外へのPRやコンテンツの磨き上げなどを行っていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・見学ツアーの実施（委託料・賃借料）4,300千円 （設備・備品費） 400千円 ・貸館の実施（プレこけら落とし公演、こけら落とし公演準備含む） （委託料） 12,850千円 （設備・備品費） 11,200千円 ・民家園活用推進協議会の設置（報償費・委託料）680千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（年間）（+1億6,774万円） ②旧広瀬座における公演・イベント開催日数（市主催除く）（+28日） ③ふくしま三名湯延べ宿泊者数（飯坂・高湯・土湯の宿泊者）（+19,600人） ④観光客入込数（福島市民家園入園者数）（+10,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/2/1002/2/sousei/index.html < 効果検証 > https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shisei/sHisaku-keikaku/1/1/2/10820.html

事業概要：地域コミュニケーションDX推進事業

新規

申請者	福島県会津若松市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	272,560千円 (27,830千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域コミュニティの単位での地域全体の活性化により、若年層等が住みやすいまちづくりに取り組み、転出超過の改善を図る。 ・地域コミュニティ運営をデジタル技術の活用で効率化し、若い世代の参画促進や、年長者の負担減で運営できることを目指す。 ・地域コミュニティのつながりを再構築して住民の「孤立」を防ぎ、地域の人の暮らしを安全に守ることで、「住みやすさ」へつながり、人口減を防ぎ、地場産業の人手不足を防ぐ。 ・人口減少・少子高齢化の課題を共有する周辺市町村等との共同実施による持続性の確保や、若者・女性も参加しやすい地域コミュニティが存在するまちとしての魅力発信による移住者や寄附金等の獲得にも取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少や高齢化が進む中、アナログな連絡手段による地域コミュニティ運営の負担を軽減し、以下の3つの事業により現代のライフスタイルに即した「持続可能な地域運営モデル」への転換を実現する。 (1)「地域コミュニケーションDX調査・導入・改善事業」として、デジタルサービス等を比較検証し、サービスの導入等を実施。(2)「地域コミュニケーション担い手育成事業」では、サービス導入やデジタルデバイト対策を行う人材を育成し、ヘルプデスク等の支援体制を構築。(3)「スマートシティサポーター活動促進業務」で、デジタルの積極的な活用を促すスマートシティサポーターの活動を促進する。これらにより、若者から高齢者まで多世代が参画する効率的な地域コミュニティの形成を目指す。					「持続可能な地域運営モデル」へ 解決への3つの柱：ツール・人・機運の歯車を回す 【取組①】 ツール 地域コミュニケーションDX調査・導入 最適なツールの選定と、市民ニーズ（UI/UX）に即した開発・改修。 【取組②】 ヒト 担い手育成 操作サポートや運用を支える「地域DX支援体制」と人材のOJT。 【取組③】 機運 スマートシティサポーター ポイント連携やスタンブラリーを通じた、楽しみながらの普及促進。	
	【R8年度事業 経費内訳】 (1)地域コミュニケーションDX調査事業（委託料） 13,200千円 (2)地域コミュニケーションDX担い手育成事業（委託料） 7,062千円 (3)スマートシティサポーター活動促進事業（委託料） 6,384千円						
主なKPI	①地域の人口・世帯数（+80人） ②女性区長の割合（+1.5%） ③運営にデジタルサービスを使っている町内会の数（+16町内会） ④スマートシティサポーターの登録者数（+120人）					URL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > 令和8年9月公表予定 < 効果検証 > https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100032/

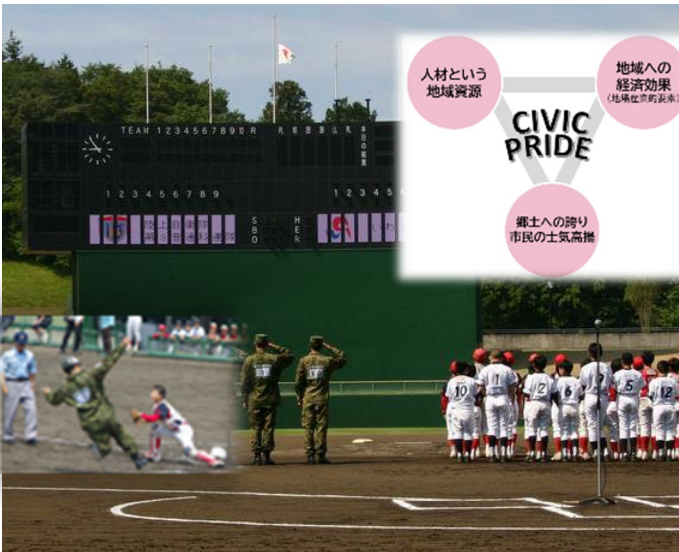
事業概要：「お試しから定住まで」ワンストップ型移住・定住支援モデル

新規

申請者	福島県いわき市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	41,790千円 (13,930千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若年層流出による担い手不足を解消し、地場産業の維持・地域経済の持続性を確保する。 ・地域資源・産業基盤の強みを活かした魅力発信により、域外から人材・需要を呼び込み経済循環を強化する。 ・誘致センターを核に、インターン・お試し移住等を一体的に推進し、移住・関係人口拡大を通じて産業を支える人材基盤を拡充する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、地場産業の付加価値向上や販路開拓を支援し、地域経済の維持・拡大と産業を支える人材確保を図るものである。首都圏でのプロモーションにより、本市の移住先としての認知向上に加え、地域産品や企業の魅力発信を強化し、域外需要の取り込みにつなげる。あわせて、お試し移住による生活・就業体験を通じて担い手候補層を形成する。さらに、いわきファンクラブを活用した市内事業者との交流機会を創出し、関係人口を地域産業の応援者・将来的な担い手へと深化させるとともに、有償インターンシップにより若者と企業の接点を拡大することで、地域産業の持続的発展につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・首都圏に向けたイベント等によるプロモーション(負担金) 6,400千円 ・「暮らすように滞在する」お試し移住体験事業(負担金) 5,000千円 ・「いわきでつながる」企業と学生の交流推進事業2,530千円						
主なKPI	①地方へのUIターン数(年平均) (+15世帯) ②首都圏における本市の移住先・継続的に関わる地域としての認知率(+30%) ③お試し移住・ガイドツアー参加者数(+80人) ④関係人口(いわきファンクラブ会員数) (+1,400人) ⑤いわきファンクラブ新たな魅力発見ツアー参加者数(+50人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1769669957552/index.html < 効果検証 > 令和9年6月公表予定

事業概要：野球による地域創生～いわき甲子園プロジェクト～

新規

申請者	福島県いわき市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	104,510千円 (46,152千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・東日本大震災からの復興のシンボルである「野球」というコンテンツを最大限に活用し、将来の地域創生を担う若者世代に対して、交流事業等を開催し、地元を見つめ直す機会や地域コミュニティとの交流の場を提供し、地元への愛着を醸成することで、UIJターンの促進を目指す。 ・市が主催者として、プロ野球の公式戦を計画立案・実施することで、交流人口と地域経済活動の拡大を図るとともに、地元企業の育成、さらには新たな雇用の創出を行い、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スポーツ事業に関する専門的な知識を有する外部人材を招聘し、小学生から大学生までの世代間交流や、震災を経験した自治体の子ども達との交流事業、甲子園常連校との交流試合などを開催する。また、プロ野球を開催することにより、地元企業の育成と新たな雇用の創出を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○いわき甲子園プロジェクト実行委員会負担金 4,156千円 ・小学生交流事業 ・高校生交流事業 ・指導者育成事業 ○プロ野球開催支援委員会負担金 26,766千円 ・事業推進主体組織経費 ・計画立案経費 ・大会開催運営等経費 ・広報 P R 費 ・効果検証費 ○スポーツによる地域創生コーディネータ業務（委託料）13,670千円 ○高校生交流事業にかかる施設整備経費 1,560千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIJターン数（+22人） ②プロ野球開催による経済効果（+320百万円） ③スポーツ（野球）を通じた交流人口数（+600人） ④地域における人材数（小学生の競技人口）（+60人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1769669957552/index.html < 効果検証 > 令和 9 年 9 月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：～復興の象徴「いわき七浜海道」～ ナショナルサイクルルート指定を見据えたインバウンドサイクル
ツーリズム推進事業（レンタサイクル・シェアサイクル導入×多言語化によるプロモーション×走行イベント開催）

新規

申請者	福島県いわき市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	86,383千円 (30,125千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・震災復興の象徴である「いわき七浜海道」を最大の地域資源と位置づけ、これを単なる移動経路ではなく、地域経済を牽引する「稼ぐための観光インフラ」へと昇華させる。 ・国内外から多様な層を呼び込む「いわきモデル」のサイクルツーリズムを確立することで、観光消費額の拡大と、地域経済の発展等を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ナショナルサイクルルートの指定に向け、多言語による情報発信を行うとともに、レンタサイクル・シェアサイクルの導入により、サイクリストの受入体制の整備等を図る。 →サイクリング情報サイト「NOZZOいわき」Webサイトを多言語化（英語・中国語）。 →多言語化された情報を基盤として、インフルエンサーを活用した各種プロモーション、イベント等を実施。 →快適で安心なサイクリングをサポートするための機能が充実した出発点（ゲートウェイ）となる「いわき駅」周辺に「レンタサイクル・シェアサイクル（無人）」を導入。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・多言語対応によるサイクリングプロモーション（委託料） 2,860千円 ・レンタサイクル、シェアサイクルの導入（負担金） 23,150千円 ・いわき七浜海道走行イベント開催（委託料） 4,115千円 計 30,125千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（+179,287千円） ②レンタサイクル・シェアサイクル年間利用者数（+4,015人） ③多言語化ホームページビュー数（+4,380件） ④走行イベント参加者数（+250人） ⑤観光入込客数（+104万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1769669957552/index.html < 効果検証 > 令和9年9月公表予定

申請者	福島県白河市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	509,329千円 (34,734千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	令和6年度に公有化した歴史的建造物である「大木家住宅建造物群」を、宿泊等が可能なまちなか回遊の拠点として整備する。宿泊施設や飲食店等として活用することで、歴史文化に関心を持つ国内外観光客の集客や事業者の誘致、地域内消費の拡大につなげ、まちに賑わいを創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歴史的建造物である大木家住宅建造物群を宿泊施設や飲食店等に活用し、地域の賑わい創出の拠点とする。 将来的には民間の活力により複数の歴史的建造物を活用し、分散型ホテルや飲食店の店舗等を中心市街地に面的に展開することで、店舗を利用する地域住民や、国内外から歴史文化に関心をもつ観光客を集客する。					  活用イメージ 大木家住宅 (現況)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・歴史的資源を活用したまちづくり体制支援業務（委託料）9,900千円 ○拠点整備事業 ・実施設計業務（委託料）24,834千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口数(中心市街地)（+36人） ②宿泊を伴う観光客数(大木家住宅)（+1,400人） ③移住・定住者数（+465人） ④新規店舗設立数（+7件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	<交付金の具体的使途・実施体制> https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html <効果検証> https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html

事業概要：市民自らが地域を動かす！交流拠点の活性化推進事業

継続

申請者	福島県白河市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	318,491千円 (232,039千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	「生きがいづくり」、「子育て支援」、「健康増進」、「交流」、「官民連携」機能を有した地域交流の拠点となる複合施設を整備し、趣味や学び、社会貢献活動等の様々な活動を提供することで、市民が集まる居心地の良い居場所（サードプレイス）としての魅力を最大限に高め、若者・女性の地元定着を促し、さらには移住定住にも繋げるなど、若者・女性に選ばれるまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民の交流や活動拠点となる複合施設を整備（新築）し、居心地のいい拠点空間を創出するとともに、イベント、講座の開催とデジタル環境の整備により、魅力と快適性を高め、集客力を高める。 また、マネジメント人材の確保・育成により、各機能のポテンシャルを最大限に発揮させるほか、活動者を支援することで、新たな活躍人材を創出するサイクルの形成を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・コミュニティマネージャー確保・育成（委託料）14,634千円 ・予約システムやホームページ構築（委託料）5,603千円 ・開館後のサービスを紹介するプレイベント開催 2,200千円 ・キャリアサポート（委託料）11,620千円 ・イベント、キャリアサポート、健康増進のための備品整備 22,692千円 ・利便性向上のための事業設備整備 73,600千円 ○拠点整備事業 ・内装デザイン（委託料）9,380千円 ・内装工事 70,840千円 ・空間デザイン用備品整備 21,470円						
主なKPI	①転出超過（社会減）の抑制（+105人） ②来館者のうち若者（30代以下）の人数（+109,904人） ③サポートを受け就労した女性の数（+84人） ④機能間連携によるイベント数（+8回）					URL	<交付金の具体的使途・実施体制> https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html <効果検証> https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：白河市産業祭！！未来体験フェスタ

～地域産業の魅力発信による関係人口の創出と次世代人材育成～

新規

申請者	福島県白河市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	65,667千円 (25,478千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・小中学生の早期段階から、質の高い職業体験を通じて地場産業（製造業・農業等）の魅力と社会的価値を正しく認識させ、地域への愛着を育む。 ・「地元にはやりたい仕事がない」という課題を解消し、将来の就職・起業の選択肢として地元企業を定着させることで、若年層の市外流出抑制と、持続可能な地域経済の維持・拡大を図る ・イベントで構築した企業・学校間のネットワークを活かし、出前授業やインターンシップ等の継続的な交流を定着させる。これにより、将来的な地元就職意向の向上という確実な成果に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 キッズニア監修による質の高い職業体験と、産業祭による広域誘客を連動させた仕組みを構築することで、地元産業の認知度向上と将来的な人材確保を図る。開発したプログラムの教材化や学校教育との通年連携により、無関心層を含む全児童の意識変容を促すとともに、移住・就職相談への動線を強化することで、移住相談件数の増加や地元就職意向の向上につなげる。					 職業体験イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・キッズニア監修の職場体験イベント開催 17,088千円 ・地域の「職」と「食」をテーマとした産業祭開催 8,390千円						
主なKPI	①地域へのUIターン数（+60人） ②来場者数（+2,500人） ③参加企業・団体数（+25社） ④体験プログラム数（職業・体験）（+30プログラム） ⑤参加者満足度（満足・やや満足）（+80%） ⑥地元就職・起業意向（前後比較）（+10%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html < 効果検証 > https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page010219.html

申請者	福島県田村市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	57,715千円（21,300千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	「観光のまち」を取り戻すための桜を起点とした誘客促進による消費喚起を図る 原発事故後に一度は失われたシビックプライドの醸成に向けた市民参加型の観光の組成		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 インバウンド誘客に向けた受け入れ環境の強化を見据えた多言語対応デジタルパンフレットの整備や、市内観光周遊の活発化に向けたデジタルスタンプラリー等による周遊促進、消費喚起を行い、地域の課題解決や魅力向上を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ●桜を起点としたデジタルスタンプラリーを実施し、市内の周遊促進の企画実施 ・アプリ開発・システム構築（委託料）2,000千円 ・特設サイト構築費（委託料）1,000千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）1,900千円 ●台湾に向けたインバウンドプロモーション ・台湾需要調査（委託料）3,000千円 ・企画・設計（委託料）8,000千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）4,000千円 ●閑散期における誘客促進に向けたフォトラリーの実施 ・企画・設計（委託料）500千円 ・調査費（委託料）400千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①観光消費額（+1,100万円） ②台湾人旅行客入込数（+100人） ③デジタルスタンプラリー消費額（+270千円） ④デジタルスタンプラリー・フォトラリー参加者数（+1,300人）		
	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL ＜交付金の具体的使途・実施体制＞ https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/machizukuri-sousei_2.html ＜効果検証＞ https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/machizukuri-sousei_2.html		



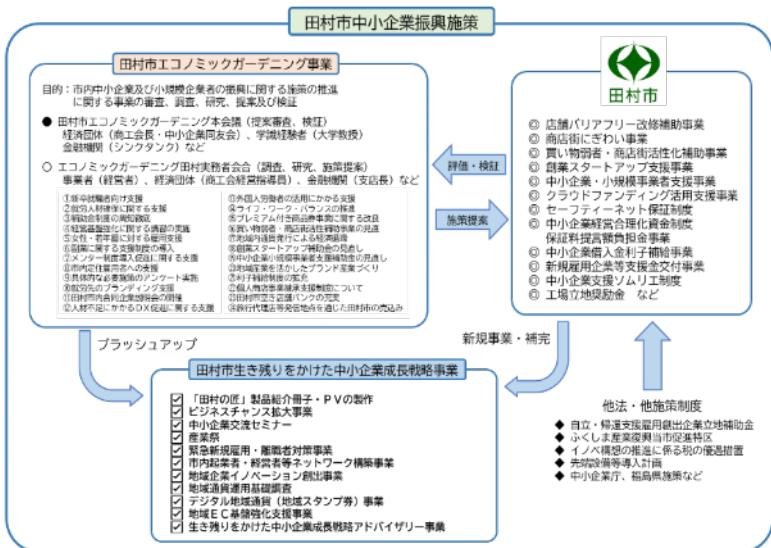
事業概要：あぶくま洞観光拠点整備事業

継続

申請者	福島県田村市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,146,982千円 (387,247千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・田村市全域の観光拠点整備による市内周遊促進、滞在時間の延伸及び観光消費額の増加を図る。 ・「食」の観光拠点整備によるリピーターの創出、田村市産品の安全性の発信力強化及び観光消費額の増加を図る。 ・インバウンド、高齢者等の受け入れ態勢強化による、誰もが平等に観光を楽しめる環境の提供を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内観光の玄関口であるあぶくま洞に「あぶくま洞観光拠点施設」を整備（新築）し、市内観光施設の紹介、観光イベントなどの情報発信を行い、周遊促進、滞在時間の延伸、地域全体の消費喚起を促す。 また、「食」の拠点施設として、オリジナル商品の開発、地元食材・習慣・伝統を意識した食を提供し、地域の伝統・文化の発信、地域経済の発展及び持続可能な観光の実現を図ると共にキャッシュレス化、バリアフリー化により、訪日外国人旅行者、障がい者や高齢者を含む多様な旅行者が身体的、年齢的な障壁を超えて、誰もが平等に観光を楽しめる環境の提供を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 観光拠点施設整備 279,190千円 ・設備整備・用地造成 設備整備（もぎりゲート、眺望テラス等） 60,383千円 ・効果促進事業（ソフト事業） 観光施設PR動画、あぶくま洞内VR映像コンテンツ制作 27,984千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+71,726千円） ②カフェ・レストラン利用率（+16%） ③敷地内キャッシュレス決済額（+60,200千円） ④あぶくま洞入洞者数（+27,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	<交付金の具体的使途・実施体制> https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/machizukuri-sousei_2.html <効果検証> 令和8年9月公表予定

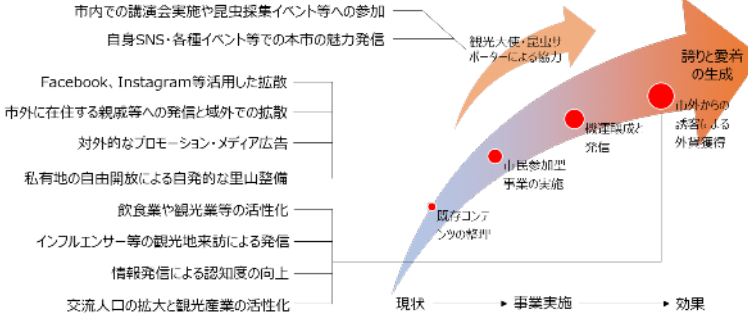
事業概要：生き残りをかけた中小企業成長戦略事業

新規

申請者	福島県田村市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	278,533千円 (69,139千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域経済や産業構造分析に基づく構造的な課題に対し、地域内ネットワークやデジタル技術、地域資源を連携させることで解決を図る。 ・商品のブランド化、加価値を創出し、新たな販路確保や拡大、雇用の定着等の好循環を構築し、地域経済の拡大と持続性確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市では地域経済の実態把握のために独自の調査や産業連関表を作成し、経済活動や産業構造を分析した結果、「人材確保・育成」、「市場開拓・販路開拓」、「製品・サービス開拓・独自性」、「経営戦略・企画力」に対する支援不足が懸念されている。 これまでの行政主導による施策の立案から一転し、経営者、学識経験者、金融機関、経済団体、経営戦略アドバイザー等を中心に「エコミックガーデニング」の手法を用い、専門課題に対し横断的かつ一貫した支援体系で具現化することで販路確保や拡大、雇用の定着等の好循環を構築し、各事業における地域の経済的効果、さらには将来にわたり事業の継続性を確保する。					田村市中小企業振興施策事業展開イメージ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「田村の匠」製品紹介冊子・P Vの製作事業（委託料）11,990千円 ・中小企業交流セミナー事業（委託料）878千円 中小企業の課題解決や成長支援を目的とし、最適なソリューション提供企業を把握し、マッチング事業を展開するとともに、個別の得意領域において企業が共同で行う田村のものづくりを支援するため助成金事業を実施する。 ・緊急新規雇用・離職者対策事業（補助金）17,250千円 市内企業の新規雇用が低迷する中で、産業構造の中核を担う中小企業を支援するとともに、新規就職後3年以内の離職者を減らすことを目的に市内に所在する事業所に対し人材確保や人材育成のための支援金を交付する。 他5事業					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL < 交付金の具体的使途・実施体制 > https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/machizukuri-sousei_2.html < 効果検証 > 令和8年9月公表予定	
主なKPI	①新規雇用者数（+150人） ②法人市民税決算額前年比率（+15%） ③売上比率（+15%） ④新規雇用者の離職率（▲2%） ⑤起業数（売上増加数）（+15件） ⑥商談数（+21件）					※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要：田村市インセクト・カルチャー醸成事業

新規

申請者	福島県田村市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	53,000千円 (20,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・行政による一方的な情報発信に依存するのではなく、来訪や体験を通じて地域の魅力に触れる機会を創出し、その過程で市民や来訪者の関与が自然に広がっていく構造の形成を目指す。 ・新たな体験型コンテンツのフィールドを整備することで、当市の持つ昆虫を中心とした自然コンテンツの付加価値向上を図る。 ・機運醸成による基盤構築や国内外の関係値を築き上げることで、継続した来訪促進、消費拡大に繋げ、稼げる観光・地域の実現を目指す						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 昆虫をテーマとした体験型イベントを実施し、地域資源への理解促進とともに、参加体験を通じた記憶に残る来訪動機の形成を図る。また、既存の夏祭りや地域イベント等と連動し、昆虫コンテンツを紹介する機会を設ける。市民が多く集まる場を活用することで、取組への認知向上と参加促進を図る。 上記の取り組みのほか、SNSと連動した昆虫フォトコンテストの実施及び市民向けの情報発信セミナーを開催し、行政からの発信だけでなく、市民自らが昆虫コンテンツを発信させると共に、各事業を記録映像として撮影し、プロモーションとしてメディア広告を行う。その他、案内サインや解説等を整備し、来訪者が地域を回遊しながら昆虫コンテンツに触れられる環境を整えることで、滞在時間の延長や満足度の向上につなげ、公的に位置づけた昆虫採集・観察フィールドを整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市民参加型昆虫関連イベント事業費（委託料）2,000千円 ・SNSと連動したフォトコンテスト事業（情報発信勉強会等の開催事業）（委託料）3,500千円 ・既存夏祭り等イベントと連動したフотスポット設置事業（委託料）1,000千円 ・市民協力型の各事業の記録映像撮影及び配信事業（委託料）10,000千円 ・昆虫関連サイン等の制作及び設置事業（委託料）2,000千円 ・市民協力型の昆虫採集（観察）場の設置事業（委託料）1,500千円						
主なKPI	①地域における観光消費額（+28,467千円） ②ムシムシランド来場者（+3,665人） ③市公式ホームページアクセス数（+107,265件） ④市公式各SNSフォロワー数（+8,504人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/mac_hizukuri-sousei_2.html < 効果検証 > 令和8年9月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

新規

申請者	福島県桑折町						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,265千円 (55,345千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・新たに整備する交流拠点並びに国指定重要文化財「旧伊達郡役所」を「町の玄関口」に位置づけ、来訪者を町内全体へ誘導する仕組みを構築する。 ・町の魅力をデジタル化によって再創出し、新たな体験価値を創造する他、情報発信拠点を構築し、桑折町ファン（関係人口）の拡大を図る。 ・デジタル技術（AR等）を活用した周遊施策により、点在する歴史遺産を面的につなぎ、隣接する大型商業施設との相乗効果を創出することで、観光消費の拡大と賑わいの再生を図り、歴史文化を核とした持続可能な地域経済の好循環を実現する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歴史観光交流センター（仮称）並びに国指定重要文化財「旧伊達郡役所」を町の玄関口に位置づけ、来訪者を町内全体へ誘導する仕組みを構築するため、本町の歴史的魅力をテーマとした動画コンテンツやARを中心とした最新のデジタル技術を用いて歴史的遺産の価値を顕在化させ、町内周遊と滞在時間の延長を図り、交流人口の拡大、地域経済の活性化を実現する。						◎機能集約 【現在】観光案内・休憩・物販等がバラバラ ↓ 【今後】全体の拠点・起点となる統合的なハブ施設 ◆点から線へ（まちなか周遊） 映像（説明・学び）センター 旧伊達郡役所 AR（体験） まちなか AR、歴史クイズ等（体験） 【南の玄関口】ゲートウェイ 来訪者（イオン・仙台圏等） ※実線…ゲートウェイから観光施設への人の流れ 破線…観光施設間の人の流れ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ◆デジタルコンテンツ制作事業 ・映像制作経費（委託料）：17,600千円 ・ARタイムスリップフォトスポットコンテンツ制作経費（委託料）：7,500千円 ・（仮称）歴史観光交流センター紹介パンフレット制作経費（委託料）：180千円 ・デジタルサイネージ・タブレット等導入に係る操作研修費・保守費：1,018千円 ・デジタルサイネージ・タブレット等導入・備品購入費：4,669千円 等							
主なKPI	①地域の観光消費額（+6,258,600円） ②歴史観光交流センター・旧伊達郡役所観光客入込数（+5,010人） ③SNS公式アカウントフォロワー数（+4,200フォロワー） ④デジタルコンテンツ参加者数（+2,681人）						URL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > 令和8年6月公表予定 < 効果検証 > 令和9年9月公表予定

事業概要：かわまた未来の担い手創生拠点整備事業

新規

申請者	福島県川俣町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	91,721千円 (91,721千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・町と包括的連携協定を結んでいる県立川俣高校が進めている地方公共団体の区域外である全国からの生徒募集を促進するため、十分な収容人数を備えた学生寮を町なかに整備する。 ・高校と地域の協働による学びや交流により、地域の賑わい創出と地元に着定して町の未来を担う意欲を持った人材の育成し、地場産業の振興や地域創を図る。 ・町と高校との協働による地域の活性化を魅力としてPRし、さらなる生徒や移住者の増加を図り、町の発展への好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在川俣町が運営している学生寮は収容人数が最大6名と制約があり、加えて町の中心部から約2km離れた場所に位置していることから、地域住民との交流や町のイベントへの参加機会が限定的であり、町の賑わい創出の効果が生じにくい状態となっている。 このため、未活用となっていた町なかの民間施設及び土地を取得（交付金対象外）し、十分な収容人数を備えた学生寮として再生することで、全国からの生徒の受け入れ人数を拡大するとともに、町なかでの生活をとおりて生徒と地域との交流を多く発生させ、町の活性化と地域の担う人材の育成を図る。					 川俣町の活性化と地域を担う人材の育成を実現 学生寮整備により川俣高校の生徒数を増加	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・拠点施設改修工事 63,696千円 ・学生寮に必要な備品整備 11,825千円						
主なKPI	①川俣町への移住者数（+265人） ②全国から川俣高校への入学する生徒の数（+32人） ③地元を含めた川俣高校への入学者数（+177人） ④川俣高校を卒業し、町内に定住・就職を希望する生徒数（+36人）					URL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > 令和8年9月公表予定 < 効果検証 > 令和8年9月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線
只見線が繋ぐ新たな広域観光X（エックス）圏創生プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	福島県只見町ほか4自治体※	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	100,253千円(42,808千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・八十里越街道・只見線沿線から面的な広域観光エリア圏を構築し、地域観光経済効果を増加する。 ・広域観光連携による地域内経済循環と自立（持続）可能な観光産業・組織を作る。 ・観光交流人口⇒関係人口⇒移住定住人口のサイクルを増加させ、人口減少による課題を解決する。 ・観光・経済・移住・環境教育の連係により人材の育成と確保を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 来る八十里越街道の開通に備え、街道及び地域に関する魅力化・情報発信を行い、国内旅行者及びインバウンド誘致を積極的に行い、自立（持続）可能な観光地域圏としての知名度の向上と、交流人口⇒関係人口⇒域内人員確保の取り組みを進める。 只見線に関する魅力化・情報発信を行い、国内旅行者及びインバウンド誘致を積極的に行い、自立（持続）可能な観光地域圏としての知名度の向上と、交流人口⇒関係人口⇒域内人員確保の取り組みを進める。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ●只見町 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業4,600千円 ・只見線魅力化・魅力発信事業5,300千円 ・只見線ビュースポット整備事業（ハード）1,000千円 ●南会津町 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業5,000千円 ●金山町 ・八十里越街道開通PR強化事業2,900千円 ・会津川口駅・只見線沿線魅力化事業2,700千円 ●三条市 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業19,698千円 ●魚沼市 ・只見線魅力化・魅力発信事業1,610千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+120.6億円） ②只見線区間平均通過人数（+84人） ③移住者UIターン者数（+223人） ④エリア内連携コンテンツ数（+8件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	(交付金の具体的使途・実施体制) 只見町：https://www.town.tadami.lg.jp/referenceroom/2026/04/005926.html 南会津町：https://www.town.minamiaizu.lg.jp/official/choseijoho/kakushukeikaku/shinko/3453.html 金山町：https://www.town.kaneyama.fukushima.jp/soshiki/54/kenshou05.html 三条市：https://x.gd/YLnEs 魚沼市：https://www.city.uonuma.lg.jp/page/1376.html (効果検証) 只見町：https://www.town.tadami.lg.jp/referenceroom/2026/04/005926.html 南会津町：https://www.town.minamiaizu.lg.jp/official/choseijoho/kakushukeikaku/shinko/3453.html 金山町：https://www.town.kaneyama.fukushima.jp/soshiki/54/kenshou05.html 三条市：https://x.gd/YLnEs 魚沼市：https://www.city.uonuma.lg.jp/page/1376.html

※福島県只見町、南会津町、金山町、新潟県三条市、魚沼市の広域連携事業

事業概要：西郷村農産物直売所まると西郷館増改築事業

新規

申請者	福島県西郷村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	826,622千円 (262,655千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の拠点である農産物産館「まると西郷館」の機能を強化することで、地域経済の活性化や観光客入込数の増加を図り、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・物販エリアの拡張により、地元農家や加工業者等の販路拡大を図るとともに、地域経済の維持拡大を目指す。 ・地域住民の日常利用や災害時の支援拠点としての機能を整備することで、観光振興と生活環境の充実を両立させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存施設「まると西郷館」の増改築を行い、物販・飲食・休憩・観光案内等の機能を総合的に強化する。 ■ 増改築による主な整備内容 ① 物販エリアの拡張 ② 飲食エリアの拡充・軽食コーナーの整備 ③ トイレ・授乳室等の利便施設の整備 ■ 整備により強化を図る機能 ① 「みんなの集いの場」としての機能強化 ② 情報発信・観光案内機能の充実 ③ 防災・地域支援機能の強化					地場産品を使った食事提供の充実 施設の魅力向上・観光情報発信による誘客強化  事業実施による施設の拡大・設備機能の強化  販売面積の拡大による地元農家の出荷拡大 敷地内遊具の整備によるファミリー層の再訪強化	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・実施設計費 39,596千円 ・建築物本体工事（増築）223,059千円						
主なKPI	① 地域の観光消費額（+1億3,543万円） ② 施設来館者数（※レジ通過者数）（+25,000人） ③ 施設売上高（+5,159万円） ④ 出荷事業者数（+15人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > https://www.vill.nishigo.fukushima.jp/soshiki/kikakuzaiseika/shisaku_keikaku/2/4/6103.html < 効果検証 > https://www.vill.nishigo.fukushima.jp/soshiki/kikakuzaiseika/shisaku_keikaku/2/4/6103.html

事業概要：スポーツコミッションの創設によるスポーツツーリズム推進事業

継続

申請者	福島県棚倉町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	174,270千円 (98,270千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	多様な主体との連携によりスポーツコミッションを創設し、スポーツを核とした交流人口・関係人口の拡大を図る。 町内の「テニスパーク棚倉」などのスポーツ施設を活用したスポーツイベントの開催やスポーツツーリズムの高付加価値化を図ることで、町内の観光消費額の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スポーツコミッションを設立し、新たなスポーツツーリズムの構築に取り組むとともに、町内の「テニスパーク棚倉」を活用したテニス大会や合宿等の誘致や創設に取り組み、交流人口の拡大を図る。さらには、スポーツツーリズムの一環として、サイクルツーリズムにも取り組み、サイクルツーリズムの拠点を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・スポーツコミッション設立事業 10,000千円 誘客に向けた情報発信強化事業経費 自立した運営するための組織強化支援事業 ・新たなスポーツツーリズム構築事業 9,000千円 新種目でのスポーツツーリズム実証経費 ・テニスの聖地化事業 5,000千円 車いすテニス等の新規大会創設経費 ○拠点整備事業（改築） ・建築物本体工事 サイクルツーリズム拠点整備 60,770千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内における観光消費額（＋161,149千円） ②スポーツツーリズムでの宿泊者数（＋6,860人） ③スポーツイベント等参加者数（＋14,250人） ④新たに構築したスポーツツーリズム数（＋15件） ⑤サイクルツーリズムの観光客数（＋250人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	<交付金の具体的使途・実施体制> https://www.town.tanagura.fukushima.jp/chos ei/seisaku-shisaku/page003188.html <効果検証> https://www.town.tanagura.fukushima.jp/chos ei/seisaku-shisaku/page003188.html

事業概要：歴史的資源を活用した観光誘客のための施設整備による賑わい創出事業

新規

申請者	福島県棚倉町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	442,674千円 (25,226千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・観光拠点施設を整備し町内への周遊を促し観光滞在時間を延長させることで観光消費額の増加を通じた地域経済の活性化を目指す。 ・誘客事業や情報発信の拠点施設を整備することにより、観光客をはじめとした人の流れを生み出すとともに、地域住民と観光客の交流を促進し、まちの賑わい創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本町は、町中心部に位置する棚倉城が江戸時代に築城されてから、政治・経済・文化の中心地、交通の要所として栄えてきた。 しかし、町には、棚倉城跡をはじめ、中心部には多くの神社仏閣が点在し、今なお観光、経済、歴史、文化など多くの分野において町の中心となっているが、城下町の周遊の拠点となる観光案内施設が無く、観光客の受け入れ環境の整備が不足している。 町では、棚倉城跡周辺において(1)観光施策が点在し面的な周遊・滞在に繋がっていない。(2)観光行動を誘導する拠点機能が不足している。(3)町が持っている歴史的資源の価値を十分に伝えできていない。という課題を解決するため、 ①町民や来訪者が周遊の拠点として利用できる休憩機能、 ②本町の魅力を実際に体験・体感できるような観光ルートを案内する機能、 ③町が持っている文化財や歴史的建造物等の情報や季節情報を発信する機能を備えた棚倉城跡観光拠点施設を新たに整備し、観光消費額の増加を図ることで、まちの賑わいづくり及び地域経済の活性化に繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・棚倉城跡観光拠点施設整備 25,226千円（委託料） 実施設計業務委託						
主なKPI	①地域の観光消費額（＋2億4,026万円） ②棚倉城跡観光拠点施設利用者数（＋64,000人） ③本町を訪れる観光入込客数（＋280,570人） ④歴まちカード配布枚数（＋2,000枚）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > https://www.town.tanagura.fukushima.jp/chosei/seisaku-shisaku/page003188.html < 効果検証 > https://www.town.tanagura.fukushima.jp/chosei/seisaku-shisaku/page003188.html

事業概要：母畑地区共創によるまちづくり拠点施設整備事業

新規

申請者	福島県石川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	147,994千円 (147,994千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・小学校跡地を活用してまちづくり拠点施設を整備し、住民、特に若者・子育て世代が主体となり、日常的に集い、学び、交流しながら地域づくりに参画できる環境を整え、地域コミュニティの強化や地域の賑わい創出につなげる。 ・日本有数の温泉旅館に隣接する立地を活かし、宿泊客や外部人材が地域住民の活動に自然に関わる機会を創出し、住民主体の取組を基盤とした交流人口・関係人口が継続的に生まれる地域を目指す。 ・住民同士の支え合いや防犯・防災体制、地域経済を維持・強化していくことで、地域住民の暮らしと安全を守る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 体育館やグラウンドのある小学校跡地にまちづくり拠点施設を整備し、母畑地区自治協議会が中心となってスポーツイベント等、多世代の地域住民が交流する事業を展開する。 隣接する温泉旅館の宿泊客をターゲットに、地域資源を活かした体験事業を展開する。また、コワーキング的な利用ができる環境を施設内に整備することにより、母畑地区に交流人口・関係人口を継続的に生み出す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 まちづくり拠点施設整備 130,109千円 ・外溝工事 駐車場整備 12,210千円 ・備品購入費 5,675千円					 	
主なKPI	①地域の人口数（関係人口・交流人口含む）（+250人） ②地域づくりに参画している人数（+25人） ③実施事業数（+10事業） ④施設利用者数（+2,500人） ⑤施設利用者満足度（+4.2ポイント）					URL	【交付金の具体的使途・実施体制】
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.ishikawa.fukushima.jp/admin/project/info/008507.html 【効果検証】 令和9年9月公表予定

事業概要：豊かな自然の中で実現する自分だけの「たまかわくらし」プロジェクト事業

継続

申請者	福島県玉川村					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	41,358千円 (14,711千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少及び高齢化の加速化による地域の担い手の流出と地域産業の衰退に歯止めをかけるため、移住相談窓口の一本化や官民が連携した移住者等サポート体制の構築、受入意識の醸成により、「暮らし」、「仕事」、「コミュニティ」等の各方面での事業を展開し、移住定住を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、本村が目指している将来像を実現するため、構造的な課題にアプローチを図るため、【1. 移住するなら福島県玉川村！ライフステージ・ライフスタイルに合わせた移住者サポート事業】【2. 玉川村の多彩な価値・魅力を活かしたしごとづくり支援事業】【3. だれもが住み続けられる持続可能なまちづくり事業】に分類し、ソフト事業の実施に取り組む。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ライフステージ・ライフスタイルに合わせた移住者サポート事業 委託料等 4,090千円 「たまかわくらしサポートセンター」の設置運営、移住促進イベントへの出展・実施等 ・玉川村の多彩な価値・魅力を活かしたしごとづくり支援事業 委託費等 7,395千円 官民連携による新規就業者・起業者の創出に向けた運営体制構築支援、ビジネスマッチング支援、デュアル農家の育成支援事業等 ・だれもが住み続けられる持続可能なまちづくり事業 委託費等 3,226千円 「たまかわくらし応援サポーター」を活用した移住者支援体制構築事業、空き家を活用した「プレステたまかわ」事業等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（+25世帯） ②移住相談者数（+100組） ③移住定住サポーター養成数（+11人） ④地域事業者との連携数（+50件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/guide/plan/005210.html (効果検証) https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/guide/plan/000054.html

事業概要：道の駅ふるどの整備事業

新規

申請者	福島県古殿町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,852,869千円 (775,417千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・道の駅ふるどのの拡張と機能充実を実施し、消費拡大、交流人口の増加による町民の所得向上を図り持続可能な経済循環を構築する。 ・商品開発、観光地周遊ツアー開拓を行いつつ、道の駅ふるどのを拠点とした情報発信のスキルを向上させることによる流入人口の増加や地域の活力の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「道の駅ふるどの」は、町内農産物等の販売拠点として一定の成果を上げてきた一方、売り場面積や交流機能、情報発信機能などに制約を抱えている。 こうした現状を踏まえ、来場者の利便性向上、生産者の出荷機会の拡大、交流機会の創出及び情報発信力の向上を図ることにより、地域経済の活性化や人の流れの創出に資する町の観光拠点として機能強化する。「道の駅ふるどの」に関わる町内の経済活動を活性化させることで現状の悪循環から「人の流れ」「新しいニーズを捉えた人口流入」「新たな雇用」による好循環に結び付け、人口減少、町内経済活動の低迷による農林業の衰退に歯止めをかけるべく「道の駅ふるどの」の拡張と機能充実（新設移転）を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・観光コンテンツ収集（委託料）4,020千円 ・商品開発、ブランド化（委託料）5,500千円 ・情報発信人材育成（委託料）1,600千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 442,734千円 ・造成工事 321,563千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+1.5億円） ②人口減少率の軽減（▲0.49%） ③古殿町の観光入込客数（+19,500人） ④「道の駅」の雇用・出荷者の増加（+57人） ⑤「道の駅」の利用者満足度（+6.75ポイント）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > 令和8年6月掲載予定 < 効果検証 > 令和8年10月掲載予定

事業概要： 檜葉町テント倉庫型屋内練習場整備事業

新規

申請者	福島県檜葉町						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	423,764千円 (423,764千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・本事業により整備する屋内練習場は、主に野球合宿の受入れ強化を目的とするものである。 ・町総合グラウンド内にテント倉庫型屋内練習場を整備することで悪天候時の練習場所の確保による合宿地選定のリスク要因の解決だけでなく、総合グラウンド内の各スポーツ施設と連携することにより、スポーツ施設全体の利便性・機能性を高める。 ・合宿の受入れ体制の強化により宿泊を伴う県内外からの合宿プログラムの提供や大会の誘致し、地元産業と連携した交流人口・観光消費の拡大を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本町は、悪天候時に硬式球を使用した練習ができる場所がなく、合宿地として敬遠された例がこれまでもある。新たにテント倉庫型屋内練習場を整備することにより、合宿地選定のリスク要因となっていた、天気や気候にとられず、打撃練習・守備練習をする場所が確保できるだけでなく、隣接する既存スポーツ施設と連携し段階的・複合的な合宿プログラムの提供が可能となることで、単なる施設整備にとどまらず、今までの「屋外施設中心の拠点」からスポーツ・観光・地域資源を横断的に活用した「全天候型・通年型の合宿拠点」へと機能強化され、スポーツ合宿の受け入れ体制を強化でき、滞在日数の増加による交流人口・観光消費額の増加を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築工事 233,125千円 ・電気設備工事 51,000千円 ・機械設備工事 3,240千円 ・外構工事 13,960千円 ・その他経費 122,439千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+5,400人） ②町総合グラウンドの交流人口数（町外利用人数）（+1,350人） ③地域の観光消費額（+1億8,000万円） ④スポーツ合宿件数（+30件） ⑤スポーツ大会、教室・イベントの開催数（+12件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > 令和8年8月公表予定 < 効果検証 > 令和9年9月公表予定

事業概要：富岡駅前賑わいづくりプロジェクト

新規

申請者	福島県富岡町						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	67,875千円 (17,335千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・駅前空間を交流の拠点として再構築し、町を訪れる人々にとって印象に残る滞在の場を創出し、交流人口の拡大を図ることを目指す。 ・富岡駅を核に、若者世代や子育て世代を含む幅広い世代が集い、滞在し、再訪したくなるような仕掛けを段階的に整備することで、「訪れる」「滞在する」「回遊する」という人の流れを生み出し、将来的な移住・定住のきっかけにつなげていくことに加え、人が人を呼ぶことで地域経済活性化の好循環が町全域へ波及していくことを目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 【駅前空間全体の利便性・回遊性を高める基盤整備】 富岡駅周辺にWi-Fi環境やQRコードスポットを整備し、各種情報へのアクセスを容易にし、東日本大震災に伴う津波被災前の街並みや被災から復旧に至る過程の記録（デジタルアーカイブ）、町の観光情報、イベント情報、公共交通情報等を一体的に発信できる環境を整える。 【人が集まり・滞在する目的性を生み出す拠点整備】 富岡駅近くの既存都市公園に、バスケットコートを整備し、駅前に新たな滞在・交流の拠点を創出する。将来的にイベント開催等により、多様な世代が集う交流の場として駅前のにぎわい創出につなげる。 【ニーズ調査システム構築、アクセス数の蓄積、人流測定機器・システムの整備】 QRコードスポットアクセス先に、利用者要望や利用者分析、アクセス数等のデータを収集・蓄積できるようシステム化する。また、駅周辺に人流測定をできる機器を整備し、サイン計画や発信する情報を調整するなど、発現できる効果を拡大する。						 至 仙台 JR 富岡駅 至 水戸 JR常磐線 富岡駅付近の状況	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・QRコードスポット整備事業 14,465千円 ・駅前広場Wi-Fi整備事業 1,870千円 ・ニーズ調査システム構築費用 1,000千円							
主なKPI	①地域の人口・世帯数（+1,050人） ②富岡駅の利用者数（+1,050人） ③富岡駅前屋外バスケットボールコートの利用者数（+1,600人） ④町内主要観光施設・イベントへの入込客数（+17,500人） ⑤整備するQRコードスポットへのアクセス回数（+3,300件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						URL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > 令和8年6月公表予定 < 効果検証 > 令和9年9月公表予定
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL								

事業概要：浪江町エネルギーセンター整備交付金事業

新規

申請者	福島県浪江町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (118,210千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本事業で整備するエネルギーセンターから、グリーン水素等を用いて発電した再生可能エネルギー100%の電気を駅前再開発エリアへ供給し、CEMSと連動した効率的なエネルギー利用モデルを実装することで、脱炭素のまちづくりを推進し、「住んでみたいまち」としてのブランド力を高める。 ・また、国家戦略特区を活用した全国に先駆ける街中での水素実証フィールドとして位置付け、企業や研究機関の活動を誘致し、連携を促進することで、イノベーション創出の基盤を構築する。これにより、スタートアップの育成や企業誘致を通じた地元雇用の拡大を図る。 ・これらの取組を通じて、浪江町の強みであるエネルギー・水素分野の産業基盤を強化し、地場産業の成長と持続的な地域経済の形成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 浪江町エネルギーセンターを整備し、グリーン水素や再生可能エネルギーとCEMSを連携させた先進的な脱炭素まちづくりを駅前再開発エリアで推進し、「住んでみたい町」としてのブランドイメージの確立を図る。地域の強みであるエネルギー分野を核に、研究・実証から事業化までを一体的に支援する産業クラスターの形成を目指す。 また、国家戦略特区制度を活用して住居地域内の水素貯蔵上限を緩和し、本施設を全国に先駆けて住居地域でグリーン水素を安定的に供給できる実証フィールドとして活用する。その強みを生かし、企業の実証事業を誘致するとともに、福島国際研究教育機構や東北大学福島浜通り拠点等の研究機関との連携を促進し、イノベーション創出の基盤を構築する。 さらに、水素・再生可能エネルギー利活用のショールームとして町の先進性を広く発信する情報発信拠点として活用し、魅力ある企業進出環境を示すことで、新たな企業誘致と雇用創出につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 浪江町エネルギーセンター整備工事（新築） ・設計業務委託費 90,000千円 ・CM業務委託費 28,210千円						
主なKPI	①エネルギー関連企業雇用者数（+50人） ②町内の新エネルギーに関する実証件数（+5件） ③純水素燃料電池によるCO2削減量（▲1,000 t） ④エネルギーセンター来訪者数（+9,000人）					URL	< 交付金の具体的使途・実施体制 > 令和8年6月公表予定 < 効果検証 > 令和9年9月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL